

2020年4月3日

電通、今後も「持続可能なリモートワークを基本とした業務対応」を継続
～当社男性従業員1名（40代）が新型コロナウイルス感染検査で陽性判定（4月2日）～

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：五十嵐 博、以下「当社」）は、更なる感染拡大と長期化が懸念され始めている新型コロナウイルス対策においては、従業員の健康と、取引先および社会全体に対する安全配慮を徹底するべく最大限の環境を整えることに注力しております。

当社はその一環として実施している「持続可能なリモートワーク※を基本とした業務対応」を今後も継続してまいります。

そうした中、4月2日、汐留の電通本社ビルに勤務する男性従業員1名（40代）が新型コロナウイルスへの感染検査で「陽性」であることが確認されました。

速やかに当該従業員の入館記録を確認した結果、当社がリモートワークに移行した2月26日以降、当該従業員は電通本社ビルの執務ゾーンに立ち入っていないことが分かっております。

また、当該従業員が業務上関係のある外部に対しては、ご説明を適宜実施させていただいております。さらに、所轄保健所が実施する感染ルートの特特定や濃厚接触者の認定にも全面的に協力してまいります。

当社は今後も、社内外への感染拡大抑止と従業員の安全確保を最優先に、政府・自治体の方針や行動計画に基づき、迅速に対応を決定し実施してまいります。

関係者の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

※リモートワーク：「在宅勤務」または「会社と自宅以外での勤務」

以 上